●駐車設備リニューアルのご提案　メンテナンス部

2基のSPパークを一括して予約管理 ―銀座HOビル

現在、メンテナンス部では、通常の保守業務を行うかたわら、耐用年数の迫った駐車設備の改修工事を行っています。

またお客様に改修工事のご提案をさせていただくにあたっては、ただ単に新しい部品に交換するだけではなく、既設の駐車設備の導入後に開発された新技術など、付加価値を付けてお客様に満足していただけるように努力いたしております。

たとえば機械関係では、収容車のサイズアップやトレー（車を載せる台）の車路幅を広くして、より車を入れやすくするなどのご提案をさせていただいております。また、電気関係でも最新の技術を導入することにより、操作性の向上や駐車設備の効率的運用など、様々なご提案をいたしております。

その一例として一昨年（97年）に実施させていただきました銀座HOビルの改修内容をご紹介いたします。これは、ビル自体のリニューアルに合わせて実施されたものです。この建物は銀座5丁目の交通量の多い道路に面し、SPパークが2基設置されています。このビルでは入出庫時の混雑が予想されており、また改修後、駐車設備はお客様ご自身により操作されることが決まっておりました。そこで操作方法（予約システム）の改善をご提案し、ご採用いただいたものです。

改修のポイントとしては、①契約者のID（暗証）番号は、予約装置で全て管理する ②契約者のID番号は2基いずれにも使用できる ③入庫車両を優先する ④ディスプレー装置を使用し、操作性を向上させる―の4点のご提案をさせていただきました。

以上のように、メンテナンス部では、さらにお客様にご満足いただけるような改修工事のご提案を積極的に行っております。

また、お客様に対しての日々の保守業務におきましても、さらなるご信頼を得られますよう、技術の研鑽に精進すべく専門の研修センターを設置して、定期的に技術研修を行っております。

＊お客様ご相談窓口
メンテナンス部　03-3844-6290
担当：吉尾

97年の改修工事でA、B両基をシームレスに予約管理できる連続投入予約システムが導入された。

全長5.7m、全幅2.05m、重量2.5tと大型車も入庫可能。

空きがグリーン、入庫済みがピンクのアイコンで表示され見やすい。

車ごとに決められたキーワードを入力することで誰にでも簡単に操作できる。

モニタ画面は対話式に操作することができる。

連続投入予約システムが採用されたのは銀座HOビルが初のケース。

■施設データ■
銀座HOビル
駐車設備：多層循環箱型方式SPパーク
型式：SPAH-28×1基
　　SPAH-24×1基
収容台数：合計52台
　　（A号基28台、B号基24台）
設置年度：1966年
最終改修年度：1997年

銀座5丁目の昭和通りに面して銀座HOビルがある。入出庫口はビルの裏側になる。

駐車場に面する道路は一方通行の裏通りだが、昭和通りの抜け道にあたり、交通量は多い。

一台で施工写真を思いのままに記録する

手軽にデジタル画像が撮影でき、人気を集めているデジタルカメラですが、仕事で使えるものとなると少ないのが現状でした。しかし、コダックの高画質を実現したデジタルカメラDC260ZOOMでは、画質、機能、使い勝手といった、カメラに必要とされる要素から見ても仕事で使えるデジカメに仕上がっています。

●KODAK DC260 ZOOM

コダック
多機能・高画質新世代デジタルカメラ
DC260 ZOOM

●CCD総画素数：160万画素1/2インチ　●記録画素数：1536×1024(高画質1.6M)／1152×768（中解像）／768×512（標準）　●記録媒体：コンパクトフラッシュカード（8MB同梱）　●電池：単3乾電池4本　●サイズ118×106×57mm　●重量：約525g（電池除く）　価格12万8000円。

デジタルカメラとして最高領域の高画質を実現するため、総画素数160万画素の1／2インチCCDを採用しました。写真サイズはもちろんA4～B4という大判の出力でも微妙な色調やディテールを確保します。

デジタルカメラとして初めてOSを搭載しました。各種の設定をプログラミングしたり、画像をHTMLファイルに挿入したり、メモを書き込むことまでカメラ1台でできます。

標準装備されたズーム機能は光学3倍ズームレンズ（35mm換算：38～115mm）と、2倍デジタルズームを採用しました。映像クオリティが確保されたズームの採用で、適切な画像の撮影が可能です。

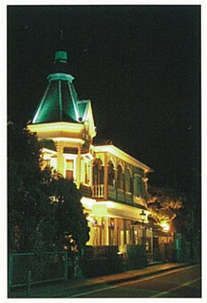
本体付属品にはビデオケーブルが付属しており、パソコンがなくてもテレビさえあれば、撮影画像をテレビ画面に出力することが可能です。また、カメラとテレビをケーブルで接続した状態で撮影を行えば、テレビ画面をファインダーがわりにしての撮影もできます。

オート／マニュアル対応 連続8枚の連写も可能

従来のデジタルカメラは、ただシャッターを押して画像を記録するツールという印象がありましたが、この『DC260ZOOM』は違います。フォーカスモードはオート／マニュアルの切り替えが可能なほか、被写体に30cmまで迫っての撮影も可能です。また、ストロボなどの補助光を追加できる外部フラッシュシンクロ機能も採用されました。さらに、マニュアルでの露出補正や長時間露光なども可能です。デジタルカメラの撮影画像というと、いったんパソコンに取り込んでフォトレタッチソフトで修正しなければならない画質レベルのものもありましたが、このモデルでは、撮影しているその場で従来のフィルムカメラのような正確な撮影が可能です。

また、これまでのデジタルカメラは撮影画像をデータとしていちいちメモリに書き込むため、撮影してから次の画像を撮影するまでのタイムラグが大きく、シャッターチャンスを逃すこともありましたが、本モデルではデータの書き込みに独自の方式を採用し、一気に8枚までの連続撮影を可能にしています。たとえば、ゴルフのフォームチェックなどもコマ送りで確認することができるようになりました。

また、特色のある機能としては、1分から24時間までの間隔撮影ができるインターバル撮影機能があります。作業の進行状況や人の流れなども記録することができます。また、プレゼン時などに便利なスライドショー機能も、画像送りのタイミングの設定まで可能で、しかも、操作にとまどうこともありません。


撮影画像は3種類の記録画素数が選べ、さらにそれぞれの画素数において高解像、標準、スナップの3モードの選択が可能です。付属の8MBのコンパクトフラッシュカードに、最高画質で14コマ、標準解像度のスナップモードでは最大92コマの撮影ができます。

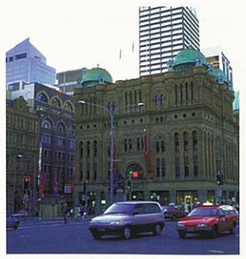
編集後記

新年を迎え、二十一世紀も目前となってまいりました。皆様方におかれましては、来る新世紀に向けてさらなる発展をめざして様々なビジョンを描いておられることと拝察いたします。

さて、今号の「COM」はいかがでしたでしょうか。毎回たくさんのご意見ご感想をお寄せいただき、編集スタッフ一同、心より感謝申し上げます。

私ども日精では、これからも、駐車設備の総合メーカーとして、新世紀に向け、万全の体制で皆様によい製品・サービスをご提供できるよう一層励んでまいる所存でおります。何卒、本年もよろしくお願い申し上げます。

最後に、今号の制作に当たってご協力いただきました方々に、この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。
（次号の発行は、8月の予定です）



COM
NISSEI PARKING SYSTEMS

発行日　発行日：1999年2月1日
　　通刊第12号（年2回発行）
発　行　日精株式会社
　　パーキングシステム事業部

TEL.03-3502-9556
本誌掲載の写真・記事の無断転載および複写を禁じます。